

## R6 生徒用

		生徒(回収率 全体:71.0%) 【参考(昨年度):回収率 全体:84.1%】				
分類	番号	質問内容	R4	R5	R6	前年比
全般	1	東住吉総合に入ってよかったと思う。	76.6%	85.3%	79.0%	-6.3%
全般	2	自分の学級(クラス)は楽しい。	80.2%	84.5%	82.9%	-1.6%
全般	3	学校生活で挨拶ができる。		91.0%	88.8%	-2.2%
全般	4	学校で、事件・地震や火災などがおこった場合、どう行動したらよいか、知らされている。			92.2%	
			<b>82.1%</b>	<b>85.3%</b>	<b>85.7%</b>	<b>0.5%</b>
総合学科	5	総合学科の仕組み選択科目の選び方がよくわかる。	86.0%	87.1%	91.8%	4.7%
			<b>85.0%</b>	<b>87.1%</b>	<b>91.8%</b>	<b>4.7%</b>
学習指導	6	授業はわかりやすく、楽しい。	69.8%	75.7%	76.0%	0.4%
学習指導	7	先生は、授業でわからないことについて丁寧に対応してくれる。		84.5%	86.3%	1.8%
学習指導	8	授業や部活動、学校行事、ボランティアなどを通して、地域(学校外の方など)と交流がある。			75.6%	
学習指導	9	教え方に工夫をしている先生が多い。	81.9%	83.6%	81.7%	-1.9%
学習指導	23	学校は一人一台端末を効果的に活用している。		89.8%	92.2%	2.5%
学習指導	24	東住吉総合に来て、授業や部活動、学校行事、ボランティア、資格取得などに取り組むことで、「自分の未来は明るい」と思うようになった。			78.0%	
			<b>81.3%</b>	<b>82.9%</b>	<b>81.6%</b>	<b>-1.3%</b>
生徒指導	10	先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	83.2%	84.3%	84.2%	0.0%
生徒指導	11	学校生活についての先生の指導には納得できる。	65.2%	69.9%	69.9%	-0.1%
生徒指導	12	学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	83.9%	82.8%	80.4%	-2.5%
生徒指導	13	先生は、いじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれ	83.5%	83.0%	83.1%	0.1%
			<b>80.6%</b>	<b>80.0%</b>	<b>79.4%</b>	<b>-0.6%</b>
自主活動	14	(部活動に参加している人のみ回答)部活動に積極的に取り組んでいる。	65.1%	63.8%	62.8%	-1.0%
自主活動	15	文化祭、体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。	87.0%	80.6%	88.4%	7.8%
			<b>77.5%</b>	<b>72.2%</b>	<b>75.6%</b>	<b>3.4%</b>
進路指導	16	将来の進路や生き方について考える機会がある。	89.7%	89.4%	91.6%	2.2%
進路指導	17	学校は、進路についての情報を知らせてくれる。	88.5%	89.6%	91.3%	1.8%
			<b>89.1%</b>	<b>89.5%</b>	<b>91.4%</b>	<b>2.0%</b>
人権教育	18	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	86.8%	88.5%	89.0%	0.5%
人権教育	19	授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある。	83.2%	84.5%	85.6%	1.2%
人権教育	20	人権について学ぶ機会がある。	90.3%	90.6%	91.6%	1.0%
			<b>85.2%</b>	<b>87.9%</b>	<b>88.7%</b>	<b>0.9%</b>
教育相談	21	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	79.4%	81.6%	84.9%	3.3%
教育相談	22	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる。	70.3%	73.0%	79.7%	6.7%
			<b>74.9%</b>	<b>77.3%</b>	<b>82.3%</b>	<b>5.0%</b>

平均 

81.9%	82.8%	84.6%
-------	-------	-------

R6保護者用

分類	番号	質問内容	保護者(回収率 全体:64.3%)【参考(昨年度):全体:66.5%】			
			R4	R5	R6	前年比
全般	1	子どもは、東住吉総合に入学してよかったと思う。	71.3%	91.5%	87.7%	-3.8%
全般	2	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。			81.4%	
全般	3	学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	68.7%	82.9%	82.2%	-0.7%
全般	11	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。			80.2%	
			70.0%	87.2%	82.9%	-4.3%
総合学科	4	総合学科の仕組みや選択科目の選び方がよくわかる。	75.5%	85.5%	80.6%	-4.9%
総合学科	5	系列や科目選択の決定についての情報提供は十分であった。	72.0%	86.0%	87.1%	1.1%
			73.8%	85.8%	83.9%	-1.9%
学習指導	6	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	54.4%	69.1%	70.1%	1.0%
			63.6%	69.1%	70.1%	1.0%
生徒指導	7	学校の生徒指導の方針に共感できる。	60.8%	75.1%	74.0%	-1.2%
			60.8%	75.1%	74.0%	-1.2%
自主活動	8	学校は、文化祭や体育祭などの学校行事に積極的に参加できるよう工夫されている。	69.7%	82.7%	87.1%	4.4%
			69.7%	82.7%	87.1%	4.4%
進路指導	9	学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。	75.0%	87.8%	88.0%	0.2%
			75.0%	87.8%	88.0%	0.2%
参画	10	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	36.7%	51.5%	65.5%	14.0%
			36.7%	51.5%	65.5%	14.0%
人権教育	12	学校は、子どもに命を大切にすることや、社会ルールを守る態度を育てようとしている。	75.2%	80.0%	78.4%	-1.6%
			75.2%	80.0%	78.4%	-1.6%
教育相談	13	学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。	71.8%	86.6%	86.8%	0.2%
			71.8%	86.6%	86.8%	0.2%
情報提供	14	学校のホームページ等の教育情報発信は役立っている。	68.7%	70.0%	72.5%	2.5%
			68.7%	70.0%	72.5%	2.5%

平均

66.5% 77.6% 78.9%

## R6教職員用

R6教職員用		教職員用(回収率80.3%)【参考(昨年度):75.8%】		R4	R5	R6	前年比
分類	番号	質問内容					
全般	1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。		87.2%	86.8%	81.6%	-5.2%
全般	4	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。		72.3%	76.3%	69.4%	-6.9%
全般	3	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。		74.5%	60.5%	67.3%	6.8%
全般	4	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。		63.8%	57.9%	71.4%	13.5%
全般	5	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対応ができるよう、役割分担が明確化されている。				77.6%	
				76.3%	70.0%	73.5%	3.5%
総合学科	6	生徒の進路に繋がるように系列や科目選択を指導している。		91.5%	86.8%	79.6%	-7.3%
総合学科	7	この学校の教育活動には、他の学校にない特色がある。		72.4%	84.2%	79.6%	-4.6%
				80.9%	85.5%	79.6%	-5.9%
学校経営	8	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。		46.8%	42.1%	36.7%	-5.4%
学校経営	9	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。		74.5%	65.8%	62.5%	-3.3%
学校経営	10	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。		85.1%	73.7%	81.6%	7.9%
				66.9%	60.5%	60.3%	-0.2%
学習指導	11	生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。		87.2%	86.8%	79.6%	-7.3%
学習指導	12	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。		72.3%	65.8%	77.6%	11.8%
学習指導	13	コンピュータ等のICT情報機器が、授業などで活用されている。		95.7%	89.5%	95.9%	6.4%
				84.2%	80.7%	84.4%	3.7%
生徒指導	14	生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。		87.3%	86.8%	75.5%	-11.3%
生徒指導	15	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。		76.6%	71.1%	69.4%	-1.7%
				84.1%	78.9%	72.4%	-6.5%
自主活動	16	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。		93.6%	71.1%	75.5%	4.5%
				77.7%	71.1%	75.5%	4.5%
進路指導	17	この学校では、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。		85.1%	71.1%	81.6%	10.6%
進路指導	18	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。		91.5%	84.2%	73.5%	-10.7%
				86.5%	77.6%	77.6%	-0.1%
地域連携	19	保護者や地域の人々と接する機会を設けている。		91.5%	86.8%	78.7%	-8.1%
				91.5%	86.8%	78.7%	-8.1%
人権教育	20	人権HRIにおいて様々な人権の課題を理解し、差別や偏見のない社会を旨し学習をしている。		91.4%	78.9%	75.5%	-3.4%
人権教育	21	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。		85.1%	94.7%	83.7%	-11.1%
人権教育	22	インターネットによる人権侵害や性的マイノリティの人権など現代的教育課題を教育活動に積極的に取り入れている。		80.8%	73.7%	63.3%	-10.4%
				80.5%	82.5%	74.1%	-8.3%
教育相談	23	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。		93.7%	92.1%	85.7%	-6.4%
				93.7%	92.1%	85.7%	-6.4%
情報提供	24	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。		87.2%	81.6%	71.4%	-10.2%
				91.5%	81.6%	71.4%	-10.2%

平均

80.2% 78.9% 75.7%

## R6教職員用

R6教職員用		教職員用(回収率80.3%)【参考(昨年度):75.8%】				
分類	番号	質問内容	R4	R5	R6	前年比
全般	1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	87.2%	86.8%	81.6%	-5.2%
全般	4	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	72.3%	76.3%	69.4%	-6.9%
全般	3	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	74.5%	60.5%	67.3%	6.8%
全般	4	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	63.8%	57.9%	71.4%	13.5%
全般	5	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対応ができるよう、役割分担が明確化されている。			77.6%	
			76.3%	70.0%	73.5%	3.5%
総合学科	6	生徒の進路に繋がるように系列や科目選択を指導している。	91.5%	86.8%	79.6%	-7.3%
総合学科	7	この学校の教育活動には、他の学校にない特色がある。	72.4%	84.2%	79.6%	-4.6%
			80.9%	85.5%	79.6%	-5.9%
学校経営	8	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	46.8%	42.1%	36.7%	-5.4%
学校経営	9	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	74.5%	65.8%	62.5%	-3.3%
学校経営	10	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	85.1%	73.7%	81.6%	7.9%
			66.9%	60.5%	60.3%	-0.2%
学習指導	11	生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。	87.2%	86.8%	79.6%	-7.3%
学習指導	12	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。	72.3%	65.8%	77.6%	11.8%
学習指導	13	コンピュータ等のICT情報機器が、授業などで活用されている。	95.7%	89.5%	95.9%	6.4%
			84.2%	80.7%	84.4%	3.7%
生徒指導	14	生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	87.3%	86.8%	75.5%	-11.3%
生徒指導	15	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	76.6%	71.1%	69.4%	-1.7%
			84.1%	78.9%	72.4%	-6.5%
自主活動	16	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	93.6%	71.1%	75.5%	4.5%
			77.7%	71.1%	75.5%	4.5%
進路指導	17	この学校では、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。	85.1%	71.1%	81.6%	10.6%
進路指導	18	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	91.5%	84.2%	73.5%	-10.7%
			86.5%	77.6%	77.6%	-0.1%
地域連携	19	保護者や地域の人々と接する機会を設けている。	91.5%	86.8%	78.7%	-8.1%
			91.5%	86.8%	78.7%	-8.1%
人権教育	20	人権HRにおいて様々な人権の課題を理解し、差別や偏見のない社会を旨し学習をしている。	91.4%	78.9%	75.5%	-3.4%
人権教育	21	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	85.1%	94.7%	83.7%	-11.1%
人権教育	22	インターネットによる人権侵害や性的マイノリティの人権など現代的教育課題を教育活動に積極的に取り入れている。	80.8%	73.7%	63.3%	-10.4%
			80.5%	82.5%	74.1%	-8.3%
教育相談	23	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	93.7%	92.1%	85.7%	-6.4%
			93.7%	92.1%	85.7%	-6.4%
情報提供	24	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	87.2%	81.6%	71.4%	-10.2%
			91.5%	81.6%	71.4%	-10.2%

平均

80.2% 78.9% 75.7%

## 令和6年度 学校教育自己診断

### 【生徒】（資料2-①参照）

- 「進路指導」「人権教育」「教育相談」については、すべての項目で生徒の肯定的回答割合は増加した。
  - ・特に「進路指導」については、今年度は91.4%という高数値であり、本校の進路指導の丁寧かつ確かな対応が生徒の満足度につながったと思われる。総合学科としてキャリア教育に力を入れてきたことも数値を上げた要因と思われる。
  - ・「一人一台端末を効果的に利用している」の項目について、肯定的回答は前年度から2.5%上昇し92.2%となる非常に高い数値である。
  - ・「先生は授業でわからないことについて丁寧に教えてくれる」の項目について、同じく1.8%増加し86.3%になる。
  - ・「授業はわかりやすく楽しい」の項目についても0.4%と若干であるが上昇した。今後も生徒が意欲的に取り組む工夫をする。
  - ・今年度新しい項目に「学校で、事件、事故、地震が起こった場合どう行動したらよいか知らされている」の項目が92.2%という高数値になった。これからも安全安心な学校であり続ける努力が必要である。
- 全体として80%を超える項目が増えており、生徒が活動していく中で満足のいく教育活動をこれからも続けていきたい。
- 「生徒指導」については昨年よりも0.6%減少しているので、生徒対応について、きめ細やかに整えていく必要がある。
- 「自主活動」については3.4%上昇している。今後も部活動・生徒会活動をもっと活発にしていくようサポートしていきたい。
  - ・「文化祭・体育祭は楽しく行えるよう工夫している」の項目は7.8%上昇した。
- 「教育相談」に関してはSC・SSWを活用した教育相談体制をとっており、保健室と教育相談委員会とも連携をとりながら、生徒一人一人の気持ちに寄り添い対応していくことで生徒の肯定率が5.0%増加した。

### 【保護者】（資料2-②参照）

- 「授業参観・学校行事への参加」

昨年度よりは14%増加し65.5%に到達した。数値は年々増加しており、保護者の学校に対する関心が年々高まっていることがわかる。これからも公開授業週間の実施や行事について保護者が参加しやすいようにしたい。
- 「進路指導」「教育相談」「自主活動」などにおいても数値が上昇しており、本校が保護者から期待されていることがわかる。今後も努力することが必要

である。

- 「全般」においては、4.3%減少したが、80%以上の数値を継続しており、保護者に「東住吉総合に入学させてよかった」とさらに感じてもらえるように、学校教育を充実させていく。
- 全体的に数値が昨年度より 2.1%増加した。これからも学校として真摯に生徒と向き合い、保護者と連携をとることが一層必要であると考え。

#### 【教職員】（資料2-③参照）

##### ○肯定的回答の割合が増加した主な項目

- ・「学校内で教員の授業を見学する機会がある」：11.8%増加、77.6%
- ・「教員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている」：6.8%増加、67.3%
- ・「学校行事が生徒にとって魅力的なものとなるよう、工夫、改善を行っている」：4.5%増、75.5%

##### ○肯定的回答が減少した主な項目は

- ・「生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っていない」：11.3%減少
- ・「教育活動に必要な情報について、生徒保護者や地域への周知に努めている」：10.2%減少
- ・「各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している」5.4%減

○今後もこの数値をしっかり受け止め教職員同士の連携を改善していき、コミュニケーション重視の学校運営をめざす。

#### 【まとめ】

今後も教育活動に必要な情報については生徒・保護者へのスピーディな周知に努めることが必須である。また、本校らしさを大切にし、教員、SC、SSWと連携しながら生徒の生活に寄り添ったかかわりを大切にしていき、生徒が自身の未来を明るいと考えることができるような学校運営をめざし工夫をしていく。

また今後は外部機関と連携させ、いかにキャリア教育を充実したものとするかが進路実現のキーポイントとなると考えられる。急激に社会が変化していく中、生徒たちに求められる能力とは何なのかを考え、指導していくことが学校力につながると考える。今後も本校に対する期待値を保護者・生徒のアンケート数値から読み取り、「学校へ行くことが楽しい」「東住吉総合に行かせてよかった」と思われる学校に、そして生徒たちが課題や困難を解決していくために必要な能力を身につけながら、自身の未来に希望を持って進路実現していったほしいと考える。